

## 平成28年度プレハブ建築品質向上講習会部門別内容骨子

部門	背景と狙い	内容
<b>【生産】</b>	<p>住生活基本計画では、これまで以上の資産価値の向上が求められ、「将来にわたり活用される住宅」の普及・推進が求められている。</p> <p>また、ISO9001:2015が改訂され改めてプロセスアプローチとPDCAの管理に重点が置かれ、さらに、リスクやヒューマンエラーの要求事項も追加された。</p> <p>そこで、今回の講習では、将来にわたり活用される住宅のベースとなる工業化製品の質の向上を目指し、質に影響を与えているプロセスのばらつきの評価方法と、ヒューマンエラーをキーワードとした改善のネタを持ち帰ってもらう。</p>	<p>1) 実作業による、ばらつきの測定とその評価方法を学ぶ</p> <p>2) ばらつきの原因を特性要因図を用いて討議する</p> <p>3) 各社で苦慮しているヒューマンエラーの対策について良事例を学ぶ</p> <p>4) 前日の工場見学</p> <p>※講習会の演習の一部に工場見学の内容を含みます。ぜひご参加下さい</p>
<b>【邸別設計】</b>	<p>住宅に求められる社会的要求事項がますます高まる中、工業化住宅メーカーは、その総合力で高いレベルでこれに対応し、信頼・安心を勝ち得ている。</p> <p>これをベースラインとして、設計士は顧客の個別要求事項に対応し、期待以上の提案を行うことで、感動を感じて頂こうと邸ごとの設計に力を注いでいる。</p> <p>このような状況下において、各社の「感動・安心を与えた設計事例」を共有しながら「本来の設計者としての役割」を再認識するとともに、工業化住宅のさらなるアドバンテージの強化を考えることで、今後の業務で広く実務展開を図っていただきたい。</p>	<p>1) お客様の信頼に応える質の高い仕事で、安心だけでなく、更にその上の感動を頂いた設計事例を持ち寄って情報共有を図る。</p> <p>2) 1)で情報共有した内容をもとに、グループで協議・分析を行い、本来の設計者としての役割について再認識を図る。</p> <p>3) 2)で検討した内容を、各社の事例発表を通じ、更にブラッシュアップし、実務に幅広く展開するための検討をグループで実施。</p> <p>4) グループで再認識した内容を、講習会の成果として宣言する。</p>
<b>【施工】</b>	<p>昨今は、品質の信頼性を揺るがす事象が起り、施工管理に対する世間の目が一層厳しいものとなりました。そして、建設現場における品質管理の是非が問われています。さらに施工力の低下や技術者不足も深刻な問題です。</p> <p>そんな中、今回は施工品質管理の中で職方まで目線を掘り下げてお客様や現場からどのようにすれば信頼を勝ち得ることが出来るかを考えていきたいと思えます。</p>	<p>部門テーマ：『信頼を得るために出来ることは何か』</p> <p>1) 職方に質の高い仕事をしてもらうためには ⇒評価の高い職人の紹介や社内制度について事例発表をします。</p> <p>2) 自分達がお客様・現場に対して出来ること ⇒①を踏まえて、明日から自分達が実際に実践できることを考えていただき『品質の高い仕事＝信頼』とは何か、職方への教育、現場への情報伝達方法など考えていただきたい。</p>

部門	背景と狙い	内容
【アフターサービス】	<p>新たな住生活基本計画における、これからの住宅メーカーの果たす役割の中で、資産価値を維持、向上させ、入居者の“住まい”と“暮らし”のためにアフターサービスが果たす役割を考える。その中で、日々担当者が対応に困っている「ご入居者の課題」をどのように解決すればいいか、我々が出来るサービスの「ベストアンサー」を見つけるのが今回の狙いである。</p>	<p>受講者の皆さんへ以下の宿題を持ち寄って頂く。</p> <p>① お客様対応、点検において対応に困ったこと。 ② お客様対応、点検においてうまくいったこと、工夫していること。</p> <p>これらを持ち寄って、①はお互いの対応例を共有、また②については個人のノウハウを水平展開し、これからのアフターサービス活動における「ベストアンサー」を見つける。</p>
【リフォーム】	<p>リフォーム分野が各社の主力事業と位置付けられる中、工業化住宅リフォームの信頼性を高める品質の向上が求められている。</p> <p>信頼性を高め、お客様満足度を向上させるためには各部門が連携を強化するとともに、一人一人が業務品質を高めていかなければならない。</p> <p>先進事例及びグループ討議を通じて各社の取り組みや課題解決手法を学び、自社の仕事に活かしていく。</p> <p>また、女性の活躍の場としてのリフォームにもスポットを当てた事例報告やグループ討議も実施予定。</p>	<p>1) 事例発表 良質な住宅ストックの形成に向けての重要テーマのうち、先進的な事例を学び、事業に活かしていく。</p> <p>2) グループ討議</p> <p>① チーム毎(職種毎)に重要課題を討議し、「課題解決プラスワン」のアイデアを検討する。</p> <p>② 同業他社のメンバーと意見交換することにより、苦勞の共有、刺激と気づきを実感してもらう。</p>